



「健康経営優良法人 2026(ホワイト 500)」に 3年連続で認定

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス(本社:東京都中央区、社長:横手喜一)は、経済産業省が創設し、日本健康会議とともに進める健康経営優良法人認定制度の大規模法人部門において「健康経営優良法人 2026(ホワイト 500)」に認定されましたので、お知らせします。

当社では、2018年より9年連続で認定を受けており、また2024年度以降は3年連続で、特に優良な上位500社を顕彰する「ホワイト500」に認定されています。当社は「ポーラ・オルビスグループ健康経営宣言」のもと、個性・感受性豊かな人材で溢れる組織を目指し、今後もこれまで以上に従業員とその家族の健康づくりを推進してまいります。



STAFF's VOICE ポーラ・オルビスホールディングス HR 室 健康管理センタースタッフ

私たちは、健康を「社員一人ひとりの個性や感受性が最大限に発揮され、自分らしく挑戦し続けるための経営基盤」と捉えています。不調を未然に防ぎ、重症化させないこと、そして安心して働き続けられる環境を整えることが私たちの使命です。社員の声に丁寧に耳を傾けながら、一人ひとりの状況に寄り添った支援を心がけています。今後も、社員の健康と企業の持続的な成長の両立を支える存在として、現場に根ざした産業保健活動に取り組んでいきます。

ポーラ・オルビスグループの健康経営活動について：<https://www.po-holdings.co.jp/csr/social/health/>

健康保険組合とのコラボヘルス※による、グループ健康経営の主な取り組み

1) 医療職による重症化予防と特定保健指導の内製化

当社では、産業医・保健師等が中心となり、健康診断結果に基づく重症化予防に注力しています。血圧・血糖・脂質など生活習慣病リスクの高い項目の有所見者を軸に、健康診断後の事後措置や保健指導を強化するとともに、疾病予備軍の段階からの早期介入を目的に、特定保健指導を当社保健師による内製化へと切り替えました。これら毎年の取り組みの強化を通じ、社員一人ひとりの健康維持と就業継続を支えています。

2) 「睡眠・運動・食事・卒煙」など生活習慣適正化のための意識醸成・行動変容の促進

生活習慣病やメンタル不調の予防に向け、「睡眠・運動・食事・卒煙」を中心とした生活習慣の適正化に取り組んでいます。健康プラットフォームを活用した参加型プログラムやウォーキングイベント、情報発信を通じ、日常の中で無理なく行動変容につながる仕組みを構築しています。さらに睡眠対策として睡眠時無呼吸症候群のオンライン診療プログラムを導入するなど、生活習慣の改善を通じて、生産性向上につながる環境を整えています。

3) 女性社員に対する健康支援の先進的な取り組み

グループ従業員の70%以上を占める女性社員の健康課題に対応するため、月経・更年期症状、妊活、女性のやさ対策など、ライフステージに応じた支援を強化しています。オンライン診療プログラムや情報提供、個別相談体制を整備し、女性特有の不調を抱え込まずに働き続けられる環境づくりを推進しています。

参考リリース：『ルナルナ オフィス』の「更年期プログラム」をポーラ・オルビスグループ健康保険組合が導入(2023年9月1日)
https://ir.po-holdings.co.jp/news/news/news8300234408226155565/main/0/link/20230901_lunaluna%20office.pdf

ポーラ・オルビスホールディングス『ルナルナ オフィス』の「男性更年期プログラム」を実証導入(2024年1月7日)
https://ir.po-holdings.co.jp/news/news/news-715893722722552759/main/0/link/20240117_lunaluna%20office_men_s.pdf

ポーラ・オルビスグループ健康保険組合がプレコンセプションケアを拡充 ルナルナ オフィスの「妊活相談プログラム」を導入(2024年6月3日)
https://ir.po-holdings.co.jp/news/news/news316869457780153399/main/0/link/20240603_ninkatsu.pdf

※ 企業と健康保険組合が積極的に連携し、明確な役割分担と良好な職場環境のもと、被保険者の予防を含めた健康づくりを効率的・効果的に実行すること